

最高裁秘書第440号

平成31年1月30日

林弘法律事務所

弁護士 山 中 理 司 様



最高裁判所事務総長 今 崎 幸 彦

司法行政文書開示通知書

1月4日付け（同月7日受付、最高裁秘書第41号）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

導入修習チェックシート（第72期）（両面で1枚）

2 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室） 電話03（3264）5652（直通）

組	番	修習地	班	経歴※	氏名

※ 経歴は、LS修了(既修)=1、LS修了(未修)=2、LS修了していない=3から選択してください。

導入修習チェックシート（第72期）

別に配布する「導入修習チェックシートについて」をよく読んだ上で、必要事項を記入し、A班は12月19日(水)、B班は12月20日(木)に提出してください(全員提出)。※ いずれも複数選択可

1 民事関係

(1) 知識・能力の項目ごとに、以下のA~Cから当てはまるものを選んで、回答欄に記入してください。

A : 課題があると感じた。 B : やや課題があると感じた。 C : 課題があると感じなかつた。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ア 事実関係に応じてその法的処理にふさわしい法規範を選択・適用できる民事実体法の知識 | <input type="checkbox"/> イ 訴訟進行の各段階において、問題状況に応じて適切に選択・適用できる民事訴訟手続の知識 |
| <input type="checkbox"/> ウ 要件事実の考え方 | <input type="checkbox"/> エ 主張分析・法的構成に関する基礎的知識・理解 |
| <input type="checkbox"/> オ 事実認定に関する基礎的知識・理解 | <input type="checkbox"/> オ 事実調査に関する基礎的知識・理解 |
| <input type="checkbox"/> キ 口頭・文章表現能力 | |
| ク その他 () | |

(2) どのような場面・理由で課題があると感じましたか(必要に応じ(1)ア~クの項目を示して記載してください)。

(3) 課題を感じた事項について、実務修習期間中、どのような方法で学修したいと考えていますか(前同)。

2 刑事関係

(1) 知識・能力の項目ごとに、前記A~Cから当てはまるものを選んで、回答欄に記入してください。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ア 事実関係に応じてその法的処理にふさわしい法規範を選択・適用できる刑事実体法の知識 | <input type="checkbox"/> イ 捜査・公判の各段階において、問題状況に応じて適切に選択・適用できる刑事訴訟手続の知識 |
| <input type="checkbox"/> ウ 主張分析・法的構成に関する基礎的知識・理解 | <input type="checkbox"/> エ 事実認定に関する基礎的知識・理解 |
| <input type="checkbox"/> オ 事実調査に関する基礎的知識・理解 | <input type="checkbox"/> カ 口頭・文章表現能力 |
| キ その他 () | |

(2) どのような場面・理由で課題があると感じましたか(必要に応じ(1)ア~キの項目を示して記載してください)。

(3) 課題を感じた事項について、実務修習期間中、どのような方法で学修したいと考えていますか(前同)。

3 民 事 裁 判	<p>(1) 以下の各能力について、前記A～Cから当てはまるものを選んで回答欄に記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 主張分析能力 <input type="checkbox"/> 事実認定能力 <input type="checkbox"/> 紛争解決能力</p> <p>(2) (1)で課題を感じた能力の修得のため、民裁実務修習で重点的に取り組みたい項目を選んでください。</p> <p><input type="checkbox"/> 記録の検討 <input type="checkbox"/> 期日等の傍聴 <input type="checkbox"/> 起案 <input type="checkbox"/> 指導担当者との質疑応答 <input type="checkbox"/> 判例・文献等の調査 <input type="checkbox"/> その他（具体的に記載してください。）</p> <p>(3) (1)で課題を感じた能力の修得のため、実務修習中、どのような自学自修が必要と考えているかを記載してください。</p>
4 刑 事 裁 判	<p>(1) 以下の基礎的知識・理解について、前記A～Cから当てはまるものを選んで回答欄に記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 令状請求の判断に必要な基礎的知識・理解 <input type="checkbox"/> 公判前整理手続での主張・証拠の整理に必要な基礎的知識・理解 <input type="checkbox"/> 公判手続の進行に必要な基礎的知識・理解 <input type="checkbox"/> 争点判断のための事実認定に必要な基礎的知識・理解</p> <p>(2) (1)で課題を感じた能力の修得のため、刑裁実務修習で重点的に取り組みたいと考えていること（3(2)を参考に）と、実務修習中、どのような自学自修が必要と考えているかを記載してください。</p>
5 檢 察	<p>(1) 経験がないという理由以外の理由で、基礎的知識・能力に課題・不安を感じる項目を選んでください。</p> <p><input type="checkbox"/> ア 捜査の進展に伴う事実認定（動的事実認定） <input type="checkbox"/> イ 补充捜査 <input type="checkbox"/> ウ 取調べ <input type="checkbox"/> エ 終局処分 <input type="checkbox"/> オ 公判活動 <input type="checkbox"/> カ 決裁等の口頭報告</p> <p>(2) (1)で選択した項目について、課題・不安を感じる理由と、実務修習中、どのような方法で学修したいと考えているかを記載してください。また、実務修習で経験したいことや受けたい指導があれば記載してください。</p>
6 民 事 弁 護	<p>(1) 履修や事前準備を通じて、自分の知識・能力等に課題があると感じたカリキュラムを選んでください。</p> <p><input type="checkbox"/> 問題研究1（事情聴取・事案分析） <input type="checkbox"/> 問題研究2・3（主張書面） <input type="checkbox"/> 立証 <input type="checkbox"/> 和解条項 <input type="checkbox"/> 民事保全・民事執行 <input type="checkbox"/> 弁護士倫理・職責</p> <p>(2) (1)で選択した各カリキュラムについて、①何について、どのような場面・理由で課題があると感じたか、②①で記載した各課題について、実務修習中、どのような方法で学修したいと考えているかを記載してください。</p>
7 刑 事 弁 護	<p>(1) 以下の各項目の理解に関し、前記A～Cから当てはまるものを選んで回答欄に記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ケースセオリーに基づく弁護活動 <input type="checkbox"/> 接見でのやり取り <input type="checkbox"/> 罢免に向けた活動（手段の選択、主張・立証） <input type="checkbox"/> 檢察官の立証構造の把握 <input type="checkbox"/> 弁論の構成 <input type="checkbox"/> 論証のために必要な事実の抽出 <input type="checkbox"/> 論証のために必要な事実の評価 <input type="checkbox"/> 公判前整理手続における弁護人の役割 <input type="checkbox"/> 尋問において獲得すべき事実に対する意識 <input type="checkbox"/> 行為責任の考え方を踏まえた情状立証の在り方</p> <p>(2) (1)で課題を感じた能力を修得するため、実務修習中、どのような取組が必要と考えているかを記載してください。</p>